

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担 当 課：都市局街路交通施設課
担当課長名：服部 卓也

事業名	地域高規格道路ICアクセス道路 都市計画道路 飯門田新田線 <small>いひもんてんしんてん</small>	事業区分	街路	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県上越市高土町 至：新潟県上越市上島 <small>じょうえつ こうどちょう</small> <small>じょうえつ かみじま</small>			延長	0.6km
事業概要	本路線は、主要地方道上越新井線と国道18号並びに上越魚沼地域振興快速道路の寺ICを結び、広域ネットワークを形成する東西幹線道路である。				
H31年度事業化	R3年度都市計画決定	R3年度工事着手			
全体事業費	約36億円	事業進捗率	約22%	供用済延長	—
計画交通量	21,600台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.0 (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 20 / 31億円 〔事業費：20 / 30億円 維持管理費：0.5 / 0.5億円 更新費：0 / 0億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 93 / 93億円 〔走行時間短縮便益：80 / 80億円 走行経費減少便益：11 / 11億円 交通事故減少便益：3.0 / 3.0億円〕	基準年 令和5年	
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=2.3~3.2（交通量±10%） 事業費：B/C=2.9~3.2（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.0~3.2（事業期間±20%） (残事業) 交通量：B/C=3.5~4.8（交通量±10%） 事業費：B/C=4.2~5.1（事業費±10%） 事業期間：B/C=4.6~4.8（事業期間±20%）				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 高田駅周辺地区から寺ICとのアクセス向上が図れる。 4車線化により、渋滞が緩和される。 				
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。 沿線自治体である上越市から本事業の整備促進の要望活動が行われている。 				
事業評価監視委員会の意見	事業継続を妥当と認める。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年3月24日に上越魚沼地域振興快速道路の一部区間が開通（寺IC～鶴町IC） 令和元年12月1日に県立武道館がオープン 				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率100%・事業進捗率約22%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地の取得は完了しており、今後は早期完了を目指し、橋梁下部工、上部工、道路改良工事を推進していく。				
施設の構造や工法の変更等	今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図

【位置図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。